

福島第1原発の汚染水 海洋放出に絶対反対！

すべての原発いまずくなくそう！全国会議(略称「NAZEN」)関西

連絡先／大阪市西成区山王1-1-10-807 TEL & FAX 06-7503-7232

4月13日の菅政権による東京電力福島第一原発の敷地内タンクに貯まる汚染水の海洋放出の閣議決定を絶対に許さない。2年後の開始予定まで、「海洋放出絶対反対」の声をあげ続けて、海洋放出を止めよう！福島の闘う仲間が4月9日、福島駅前での抗議行動に立ちあがっています(右の写真)。

今回の事態は、福島県の民や漁民の反対を無視した暴挙であり、「福島原発事故10年」で改めて「原発はいらない」と誓った私たちの思いを踏みじるものです。これは菅政権による政府・東電を批判する声をつぶして、オリンピックを強行しようとする戦争・改憲攻撃そのものです。絶対に許せません。

菅政権は4月7日、汚染水の処理法の決定を突如表明、福島に足を運ぶことなく岸宏全漁連会長を官邸に呼びつけました。岸会長は「反対という考えは変わらない」と菅首相に突きつけ、「東電の近々の不祥事は安全性が担保されるかを考えると極めて強い疑念を抱かざるを得ない」と強調しました。この声を無視して、13日に正式決定したのです。

福島第一原発事故10年の3月11日、全国・世界的に反原発の行動が取り組まれ、菅首相の「福島をなかったことにする」思惑は完全に破綻しました。原発反対の世論ははまだ8割を超えています。

トリチウム汚染水の問題は、被曝と健康被害の問題です。トリチウムだけをとり健康被害の報告は世界中で出されており、どんなに薄めても捕食関係を通じた生態濃縮によつ



福島駅東口交差点で訴えるNAZEN福島の椎名さん

て必ず人間に跳ね返ります。政府による命と健康の軽視は、コロナ対策と共通です。

何より東京電力の責任を曖昧にしてはなりません。福島原発からは放射性廃棄物の詰まったコンテナが8万5千基確認され、そのうち4千基は中身もわからない。事故前から東電の姿勢はまったく変わっていません！避難者や健康の不安を抱える福島県民を切り捨て再稼働へ向かうなど絶対に許されません。

闘いはこれからです。海洋放出開始予定は2年後です。絶対反対の声をあげ、海洋放出を阻止するため全力で行動しよう。福島圧殺・オリンピック強行に走り、核武装と戦争・改憲を進める菅政権を打倒しよう。